

「館林市の合併を考える」 まちづくり懇談会

館林市

「館林市の合併を考える」 まちづくり懇談会

- ・ 館林市の市政 平成20年度の主な事業
- ・ 数字で見る館林市の現在
- ・ 館林市と邑楽郡4町との合併について

館林市の市政 ～ 20年度の主な事業 ～

- 歴史の小径道路改良事業
 - 竜の井周辺道路～紺屋町通り
 - 20年度予算額 160,013千円



館林市の市政 ～ 20年度の主な事業 ～

- 館林東西駅広連絡通路・橋上駅舎の整備
 - 20年度予算額 1,622,700千円



館林市の市政 ～ 20年度の主な事業～

■ 街路事業

- 西部一号線立体交差(大街道・栄町跨道橋)事業 予算額 946,191千円
- 西部一号線他2路線道路改良事業
予算額 110,655千円
- 青柳広内線道路改良事業
予算額 125,495千円



館林市の市政 ～ 20年度の主な事業～

■ 地球温暖化対策事業

■ CO₂対策

- ・家庭用省エネナビ貸出 予算額 840千円
- ・太陽光発電施設設置補助金 予算額 2,000千円

■ ヒートアイランド対策

- ・緑のカーテン事業
クールルーフ実証実験等
予算額 2,605千円



館林市の市政 ～ 20年度の主な事業～

■ 夕陽の小径事業

- 多々良沼に面した市道の歩道・法面・護岸を整備し、沼と夕陽が地形的にも美しい景観を活用して、夕陽や四季折々の自然に触れ・親しみ・楽しみ・憩うことの出来る環境空間を創出



館林市の市政 ～ 20年度の主な事業～

■ 耐震化対策

- 木造住宅耐震改修補助金
予算額 2,500千円
- 六小教室棟耐震補強・改修工事等
予算額 95,953千円
- 三中教室棟耐震補強・改修工事設計委託
予算額 7,833千円
- 公民館耐震診断(三野谷・多々良)
予算額 2,342千円



館林市の市政 ～ 20年度の主な事業 ～

- 安全安心な生活のために
 - 子どもの医療費
通院 小学3年生まで無料
入院 中学生まで無料
 - 自主的な地域自主防災組織設立の推進
自主防災組織の設立・運営を側面から支援
- 住民総参加で、元気な彩りのある区をめざして
 - 一区一彩事業助成金
区民総参加の地域力向上の事業展開を支援

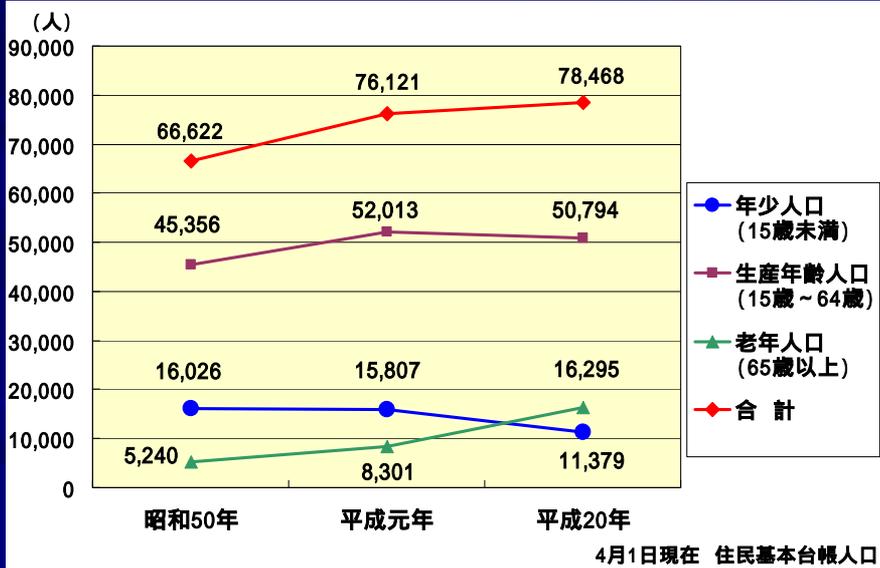


数字で見る館林市の現在

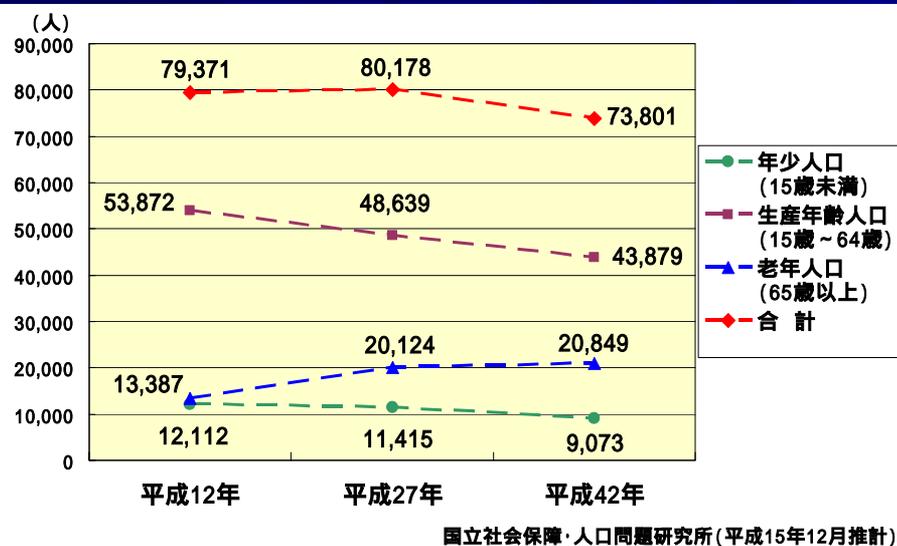


館林市全景

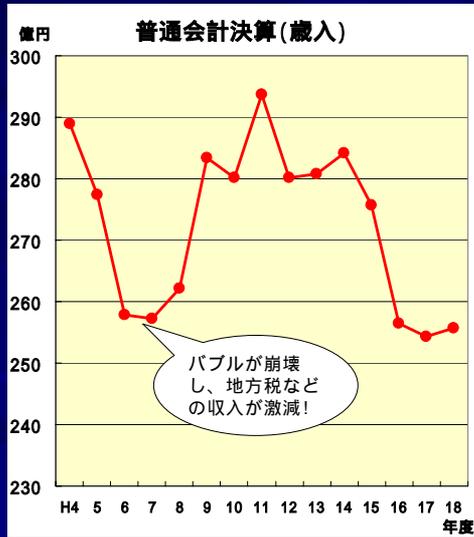
館林市の年齢別人口



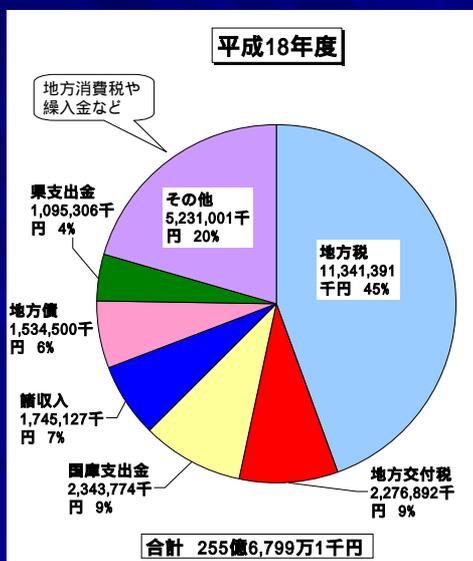
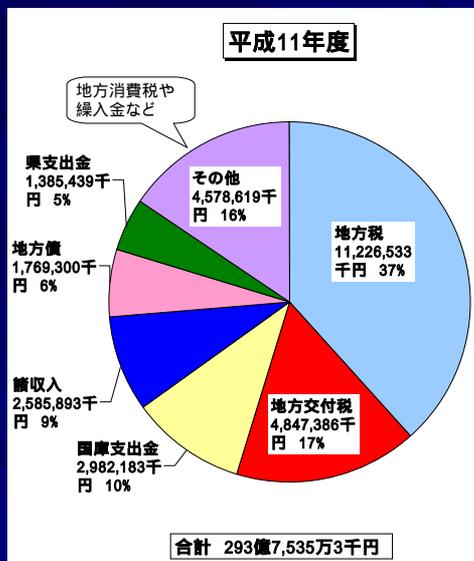
館林市の年齢別人口推計



館林市の財政規模の動き

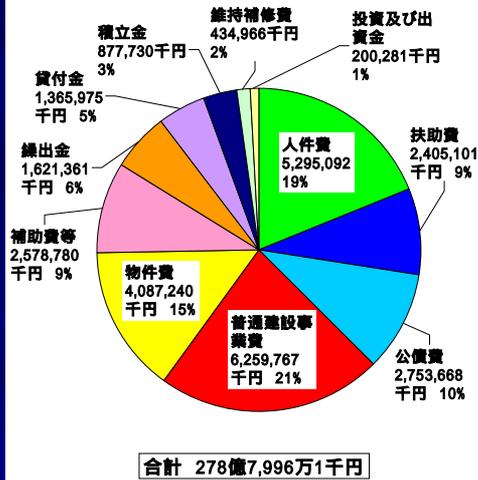


館林市の普通会計決算～歳入～

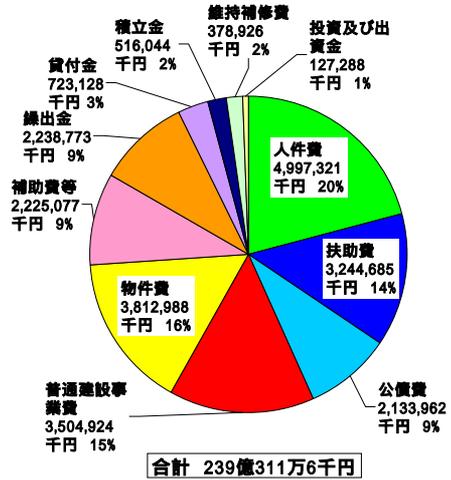


館林市の普通会計決算～歳出～

平成11年度

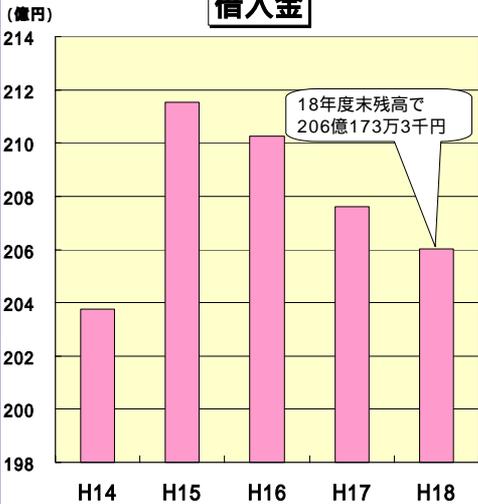


平成18年度

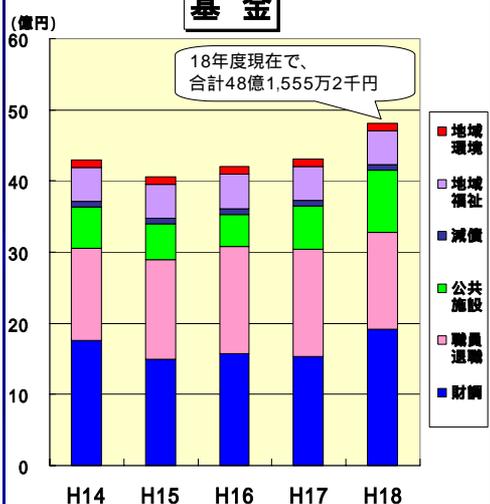


館林市の借入金・基金の動き

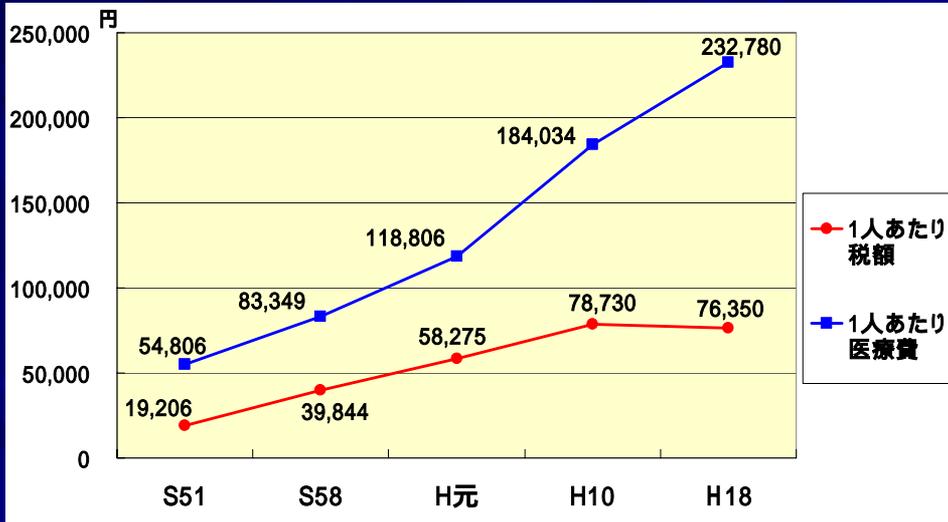
借入金



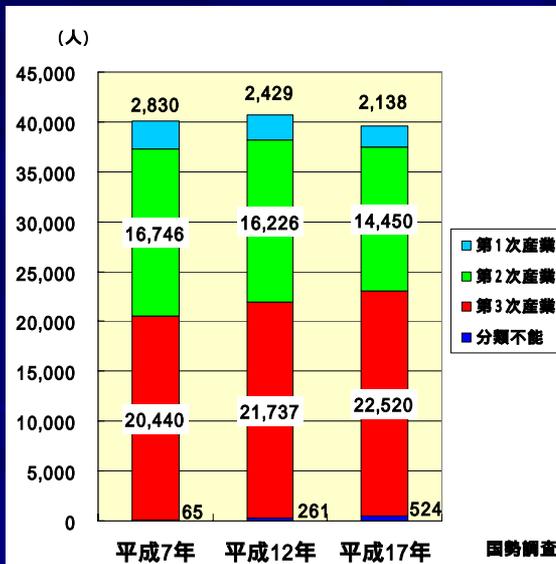
基金



館林市の国民健康保険の状況



館林市の就業者数



第1次産業とは

農業、林業、漁業

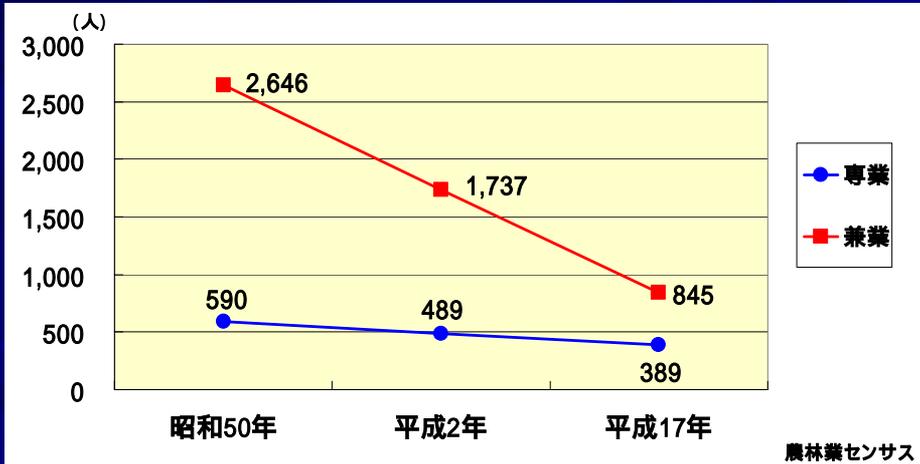
第2次産業とは

鉱業、建設業、製造業

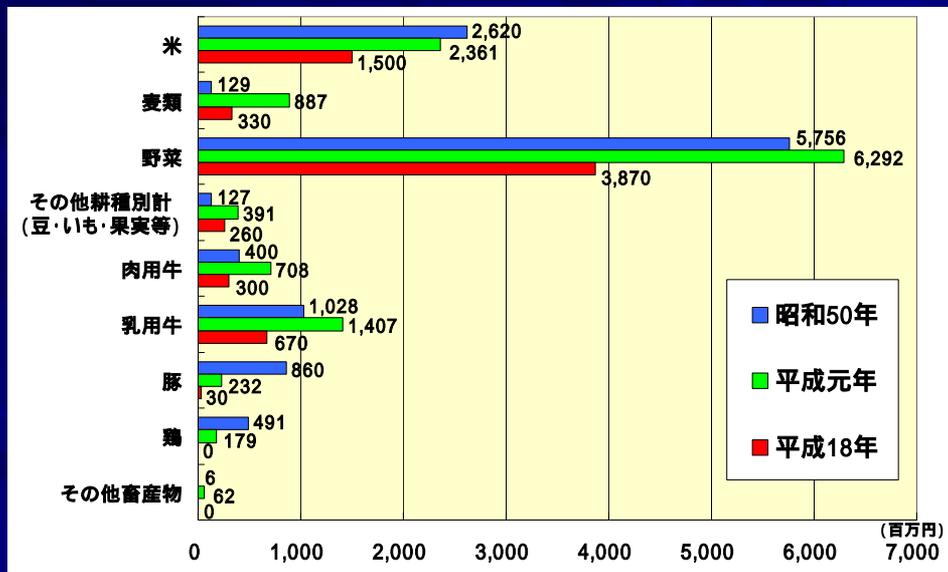
第3次産業とは

電気・ガス・熱供給・水道業、
 情報通信業、運輸業、
 卸売・小売業、金融・保険業、
 不動産業、飲食店・宿泊業、
 医療福祉、教育・学習支援
 業、複合サービス事業、
 サービス業、公務

館林市の専兼別農家数の動き



館林市の主要生産品別農業産出額



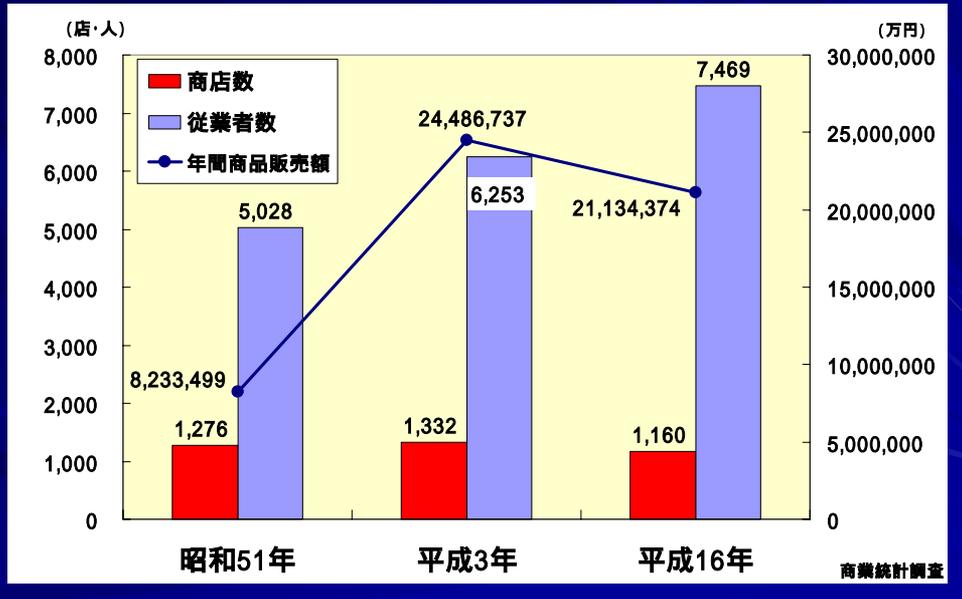
館林市の工業の動き



館林市の工業団地



館林市の商業の動き



館林市の公立幼稚園・保育園・

小中養護学校



館林市と邑楽郡 4 町

～ 板倉町・明和町・千代田町・邑楽町 ～

■ 合併に向けて（市民の動き）

- 平成20年3月15日「館林市合併推進市民会議」が発足
- 平成20年5月13日「館林商工会議所」が館林市と邑楽郡の合併推進を宣言
- 平成20年6月25日「館林市区長協議会」が邑楽郡4町と館林市の合併推進を宣言



館林市と邑楽郡 4 町

～ 板倉町・明和町・千代田町・邑楽町 ～

■ 合併に向けて（議会の動き）

- 平成20年1月28日 市議会に「合併推進委員会」を設置（有志議員）
- 平成20年6月19日 市議会に「合併推進調査特別委員会」を設置



館林市と邑楽郡 4 町

～板倉町・明和町・千代田町・邑楽町～

■ 合併に向けて（行政の動き）

- 平成20年5月「安楽岡私案」を持参し、各町長を訪問
- 平成20年5月30日館林邑楽総合開発促進協議会に「広域行政研究部会」を設置



なぜ、 合併を考えなければいけないの？

- ・「子どもたちや孫のことを今の世代が責任を持って考える」必要があります。
- ・次の世代に、合併しなかったために起こる「大きな負担」を先送りしてはならないと考えています。

合併をしなかったらどうなるの

合併しなくても、

すぐに行政サービスが提供できなくなるわけではありません。

当面は、引き続き効率的な行政運営に努めていけば、一定レベルの自治体としての運営をしていくことは可能です。

しかし、

この情勢が将来にわたって継続していけるとは考えにくい状況があります。

なぜ合併を考えるの

- 1 地方分権が進んでいます
- 2 ますます少子高齢化の社会となります
- 3 生活範囲が広くなりました
- 4 行政改革の推進がより必要になります
- 5 昭和の大合併（昭和30年前後）から50年が経過 時代が変化しました

1 地方分権が進んでいます

平成11年に施行された、**地方分権一括法**により、「**自己決定・自己責任**」のルールに基づく行政システムが進められています。

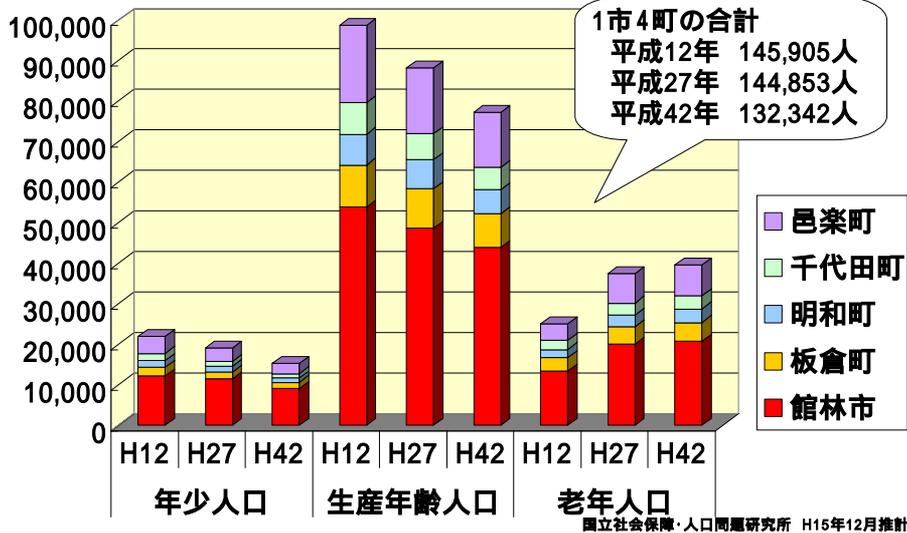
地方公共団体の**自主性に基づく地域間競争**が始まりました。

地域間競争に対応し、個性ある多様な行政施策を展開するためには、**一定の規模・能力（財源、人材）**が必要となります。

2 少子高齢化の社会となります

本格的な**少子高齢化社会**が到来し、**人口の減少**が予測されます。市が提供する**サービスの水準を確保**するためには、ある程度の**人口規模が必要**となります。

1市4町の人口推計



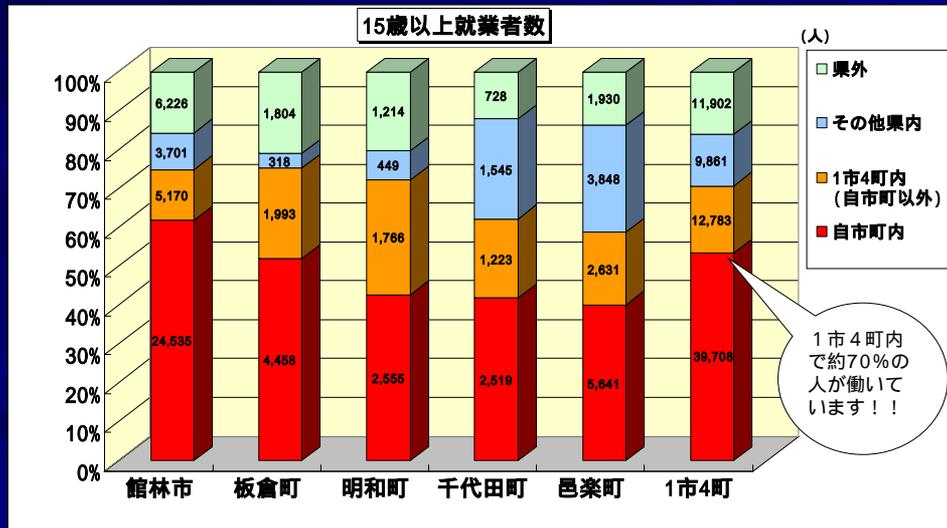
3 生活範囲が広くなりました

人々の日常生活圏が拡大し、市町の区域を越えた行政が求められています。

モータリゼーション・ITの進展が人々の交流を盛んにしています。

行政の枠が社会経済の壁になってきています。

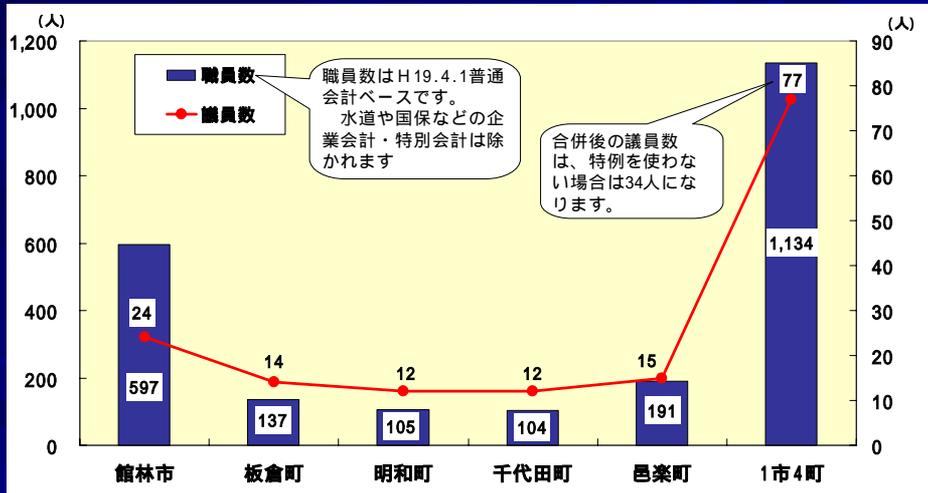
1市4町の就業者の流入・流出



4 行政改革の推進が必要になります

国・地方を通じて、極めて**厳しい財政状況**にあります。そのため、国・地方とも、より一層**簡素で効率的な行財政運営**が求められています。

1市4町の職員数・議員数



5 昭和の大合併から

50年が経過 時代の変化

例えば、交通、通信手段の飛躍的發展に対応して、**新たな市町村経営の単位**が求められています。

- 1 地方分権が進んでいます
- 2 ますます少子高齢化の社会となります
- 3 生活範囲が広がりました
- 4 行政改革の推進がより必要になります
- 5 昭和の大合併（昭和30年前後）から50年が経過 時代が変化しました

基礎自治体である市町村の行財政基盤を強化する必要があります

そのための手段として

市町村合併

なぜ館林邑楽の1市4町なの 歴史的なつながりが深い地域です。

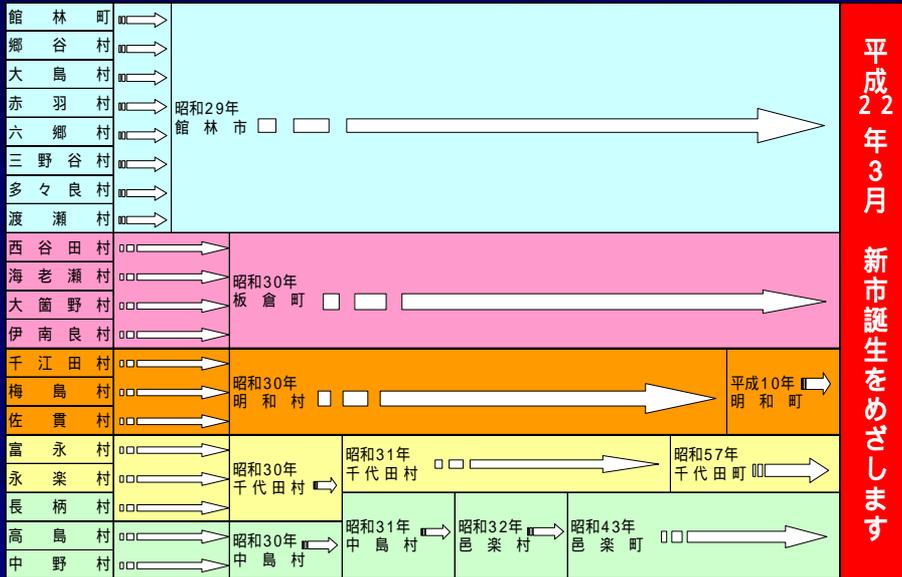
邑楽郡は、江戸時代以前からつながりの深い地域です。

明治の合併（明治22年）により2町20か村となり、以来65年間邑楽郡として一体となって結びついていました。

昭和の合併（昭和29年）により1町7か村が合併して館林市が誕生し、昭和32年には現在の邑楽郡の形ができあがりました。

その後も、病院や消防、し尿処理などの組合をつくり、協力して住民サービスを提供してきました。

昭和29年以降の邑楽郡内の町村合併状況



一部事務組合によるサービス提供

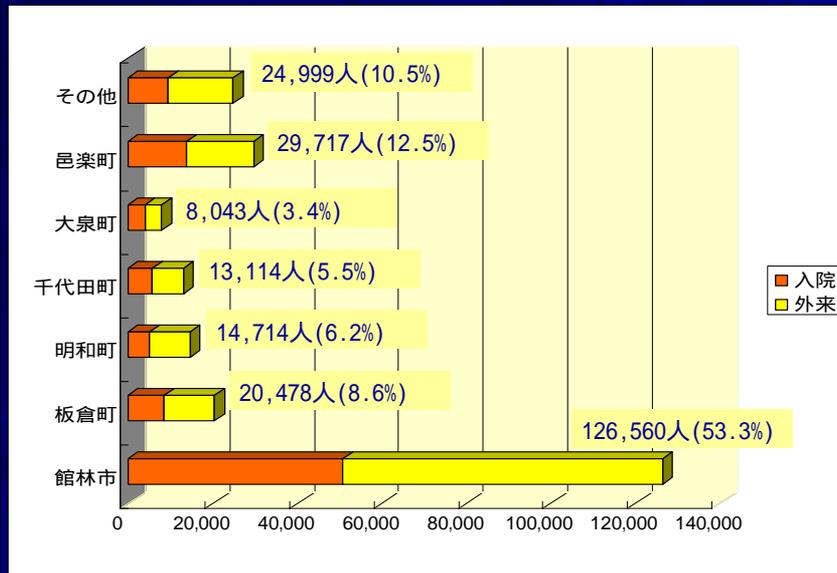
組合名	館林市	板倉町	明和町	千代田町	邑楽町	大泉町	太田市	設置年	備考
邑楽館林医療事務組合 (館林市)	■	■	■	■	■	■		昭和39年	
館林衛生施設組合 (館林市)	■	■	■	■				昭和39年	し尿処理 邑楽町は大泉町へ委託
大泉町外二町環境衛生施設組合 (大泉町)				■	■	■		昭和51年	ゴミ処理 火葬
館林地区消防組合 (館林市)	■	■	■	■	■			昭和45年	
館林邑楽農業共済事務組合 (館林市)	■	■	■	■	■	■		昭和61年	
太田市外三町広域清掃組合 (太田市)				■	■	■	■	平成11年	不燃ゴミ・粗大ゴミ処理

その他、共同して実施している事務

- ・ 館林市外5町介護認定審査会
- ・ 館林市外5町障害程度区分認定審査会
(館林市、板倉町、明和町、千代田町、邑楽町、大泉町)
- ・ 可燃ごみの処理(明和町)

館林厚生病院の利用状況

(平成19年度)



なぜ、合併をめざすの

- 1 住民の利便性の向上
- 2 サービスの高度化・多様化
- 3 重点的な投資による基盤整備の推進
- 4 広域的観点に立ったまちづくりと施策展開
- 5 行財政の効率化
- 6 地域のイメージアップと総合的な活力の強化
- 7 住民参加によるまちづくりの進展

1 住民の利便性の向上

利用可能な窓口（支所等）の増加により、各種窓口サービスや、保育園などが、住居や勤務地の近くなど、多くの場所で利用可能になります。

2 サービスの高度化・多様化

従来、採用が困難又は人材が十分に確保できなかった専門職（社会福祉士、保健師、理学療法士、土木技師、建築技師等）の増強を図ることができ、専門的かつ高度なサービスの提供が可能になります。

公共的団体の統合が図られ、効率的で多様な事業、広域的な事業などの展開が可能になります。

3 重点的な投資による 基盤整備の推進

重点的な投資が可能となり、幹線道路などの整備や大規模な投資を必要とするプロジェクトの実施が可能になります。

- ・ 厚生病院
- ・ スポーツ文化施設
- ・ 幹線道路 など

4 広域的観点に立った まちづくりと施策展開

広域的視点に立って、道路や公共施設の整備、土地利用、地域の個性を活かしたゾーニングなど、まちづくりをより効果的に実施することができます。

5 行財政の効率化

総務、企画などの管理部門の効率化が図られ、サービス提供や事業実施を直接担当する部門などを手厚くするとともに、職員数を全体的に少なくすることができます。

住民の生活圏域レベルに応じた施設の適正配置と重複類似施設の合理的配置ができます。

6 地域のイメージアップと総合的な活力の強化

より大きな市の誕生により、地域への注目度が増すことや地域のイメージアップにつながり、企業の進出や若者の定着、重要プロジェクトの誘致が期待できます。

地域の総合力が向上し、全体的な成長力や地域課題への対応力が強化されます。

7 住民参加による まちづくりの進展

合併協議の過程が、住民や団体などにとって、自分たちの地域の将来のあり方を自ら主体的に考え、前向きに行動するきっかけとなり、合併後の協働のまちづくりが効果的に進められます。

どういう考え方で合併をめざすの

- 1 住民合意による合併
- 2 対等な合併
- 3 地域の個性と特色を活かした合併
- 4 地域の均衡ある発展をめざす合併
- 5 住民自治に根ざした合併

1 住民合意による合併

住民の視点に立った協議を行い、住民の不安を払拭するとともに理解を深め、住民合意に裏付けられた合併をめざします。



2 対等な合併

お互いにそれぞれの地域の立場を尊重し、認め合いながら、新しい市の建設という共通の目的のために、対等な立場にたった合併をめざします。



3 地域の個性と 特色を活かした合併

地域の独自性、地域に対する住民の想いを大切に、将来に夢と希望が持てる地域の特色を活かした合併をめざします。



4 地域の均衡ある 発展をめざす合併

産業の育成に積極的に取り組むとともに、それぞれの役場を地域における拠点とした地域整備を進め、地域の均衡ある発展を約束する合併をめざします。



5 住民自治に根ざした合併

地域住民と行政との協働により、住民の意思や自主性が尊重される住民自治に根ざした合併をめざします。

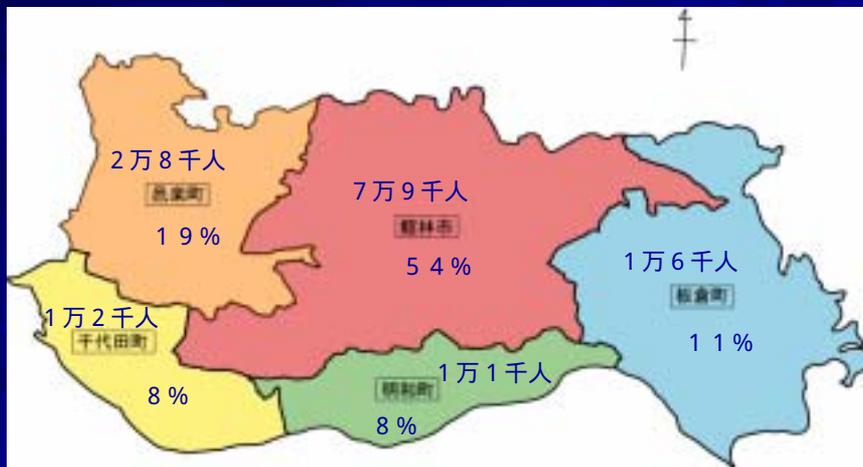


合併後の姿



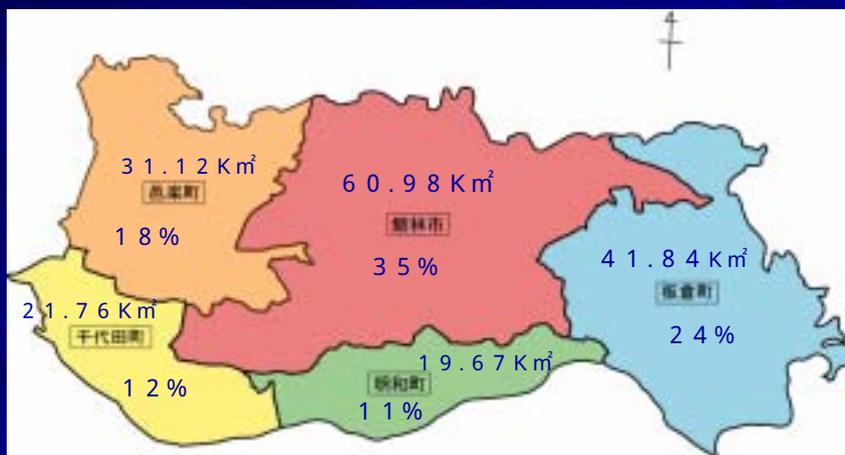
合併後の姿 1 人口

合計 約 14万6千人(平成19年4月)



合併後の姿 2 面積

合計 175.37 Km²



合併後の姿 3 財政規模

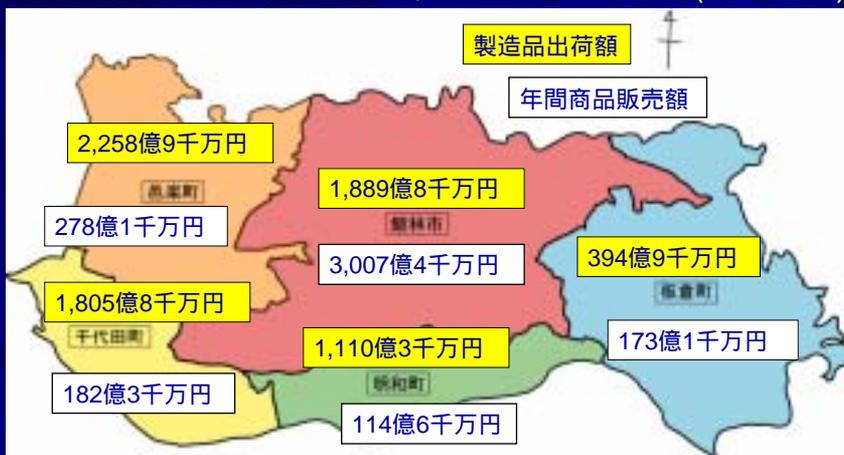
合計 約 4 5 9 億円 (平成18年度決算額)



合併後の姿 4 製造品出荷額 年間商品販売額

製造品出荷額合計：約 7, 4 5 9 億 7 千万円(平成18年)

年間商品販売額合計：約 3, 7 5 5 億 5 千万円(平成19年)



合併後の姿 5 農業産出額

合計 約 1 8 6 億 6 千万円(平成17年)



館林邑楽 1 5 万都市

新市ではさまざまな施策が広がります

- ・ 総合市民病院の設立（厚生病院 市民病院）
- ・ 邑楽館林一体の道路整備及び利根川架橋と渡良瀬川架橋の建設促進
- ・ 大規模ごみ処理場やリサイクルセンターの設置
- ・ 「農工商」を中心とした経済基盤の確立
- ・ 自然豊かな、安全・安心・快適で便利なまちづくり

～子どもたちの未来のために～

水と緑・歴史・文化・活力

「元氣の出る

館林邑楽をめざして」

～お疲れさまでした～



館林市

館林市庁舎